



「ライン河畔より」

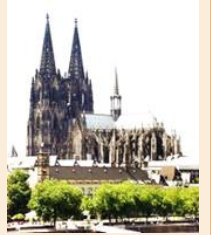
「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地にいきなさい。」

創世記 12 章 1 節

ホームページ <http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki>

佐々木良子牧師 京都市山科区上野御所ノ内町 42-5

Tel : 090-9297 0136 E-mail: r310130s@gmail.com



9 年間の感謝を込めて



2025 年 3 月 9 日
送別礼拝

主の聖名を賛美いたします。去る 3 月 19 日、ケルン・ボン日本語キリスト教会の有志の方々が見送ってくださり、20 日に予定通りに日本に帰国いたしました。これまでひとえに宣教の業をご一緒に担って頂き、そして様々な形で支援して下さった多くの方々に言い尽くせない感謝の思いでいっぱいです。

2016 年 4 月から日本基督教団の派遣宣教師としてドイツ・ケルンの地に遣わされ、9 年間という歳月が瞬くまに過ぎ去ったように思います。遣わされる数カ月前に、手探り状態で何とか「支援会」を立ち上げることができ 1 月には派遣式をして頂き、祈りをもって送られたことが懐かしく思い出されます。

当初は 3 年という予定で送り出して頂きましたが、9 年間の長い間、全てが守られたのは、主のお支えは勿論のこと、皆様が心寄せてくださったからこそです。特に 2019 年に受けた脳腫瘍の手術の際には、日本で捧げられたお祈りを肌で実感し、どれだけ励まされたことか言葉では言い尽くせません。

ケルンに遣わされた当初は、海外生活に慣れることに精一杯で一年間は駆け抜けたような感じでした。2 年目からは近隣の若いお母様方への伝道の道が開かれ、働き方の知恵を頂きながら為すべきことが徐々に見えてきて、時宜に叶ったビジョンが与えられて行動範囲も広がってきました。コロナパンデミックの当時は戸惑いながらも、インターネットを媒体として国を越えて、思いもよらない出会いが与えられました。そのようにドイツで出会った全ての方々が私にとってはかけがえのない宝となっています。9 年間の働きは様々な形で支えてくださった皆様と共に働いてきた 9 年間で、皆様との交わりの中で送り出して頂いた 9 年間でした。

今後の歩みですが、今年一年間は、神学校時代 20 数年前からお交わりのある日本基督教団・京都復興教会の協力牧師としてフレキシブルな形でお仕えさせて頂きます。長い間日本を離れていたため、教会の方々のご理解を頂きながら、所謂「慣らし保育」ならぬ「慣らし日常生活・教会生活」から初めの一步を踏み出しています。7 月中旬までは、これまでお支えくださった教会にご挨拶にお伺いさせて頂く予定です。夏以降は京都の地に落ち着きますので、ドイツで経験させて頂いた主の御業を、今度は日本の教会の皆様とご一緒に経験させて頂きたいと願っています。これからも日本でのお交わりとお祈りをよろしくお願いいたします。9 年間、心からありがとうございました。敬愛する皆様の上に主の限りない祝福をお祈り申し上げます。

「感謝、感謝、感謝の 9 年間」

佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一

復活節の大いなる喜びの余韻を残しながら、聖霊降臨祭に向かって日々の歩みを進めています。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。佐々木良子宣教師を 3 年、更に 3 年、ついに 9 年の長きに亘ってお祈りとご支援によりお支えいただき、心から感謝いたします。お陰様でケルン・ボン日本語キリスト教会には、佐々木良子師の謝儀補填等を一度も滞りなく、9 年間、毎月続けられました。この間には為替レートが 120 円レベルから最大 170 円へと急激な変動もあり、一時送金を保留して為替が落ち着くのを待ったときもありましたが、主の御用に対して神様は全てを見通しておられることを教えられました。

さて、ここまでの支える会の働きを改めて振り返ってみます。2015 年に佐々木先生がドイツに宣教師として日本基督教団から派遣されることになり、佐々木師が牧会していた小松川教会では教団の助言を得て、「佐々木良子宣教師を支える会」（略称：支える会）運営委員会が立ち上がりしました。会則を作成し、監査人もお願いして、ドイツ文学者の故小塩節先生とホーリネスの群委員長村上義治師に推薦人になって頂き、アピールのフライヤーを用意し、東京教区はじめ、全国の方々に祈りとご支援をお願いしました。そうして、2016 年 3 月に佐々木先生は成田空港を後にドイツ・ケルンの地に赴きました。そこで最初の支援金を 5 月 2 日に送金したことが記録されています。

既に、ここまで多数の方々より支援献金を受領していました9年間には、400名以上の方々及び35教会、他支援グループからご支援頂きました。9年間毎月ご送金頂いた方々もおります。当初は3年の任期ということで皆様の篤い祈りと志に支えられました。ところが更に3年更新ということになり引き続きお願いするにはどうすればよいかと主に祈っていたところ、年2回のニュース・レターに加えメールマガジンで毎月先生の働きをお知らせすることが示され、先生には負担をお掛けしましたが、運営委員のコーディネートにより実行できました。また「支える会」主催のコンサート、ミニバザー等を実施しました。この効果は献金額に反映され、漸減することなく、9年間も続いたことは驚きと共に心から主に感謝しています。

支援献金はケルン・ボン教会の謝儀補填ばかりでなく、欧州での宣教活動費、また日本への一時帰国宣教費用や本帰国関係費及び支援感謝を目的とする全国の教会巡回挨拶の費用にも充てられます。更にその後の佐々木先生の日本での牧会伝道の本格活動への準備金としても用いさせていただきます。どうぞご了承くださいますようお願いいたします。

最後になりましたが、お祈りの内に長年ご支援頂いた皆様の上に主の豊かな祝福と御恵みが注がれますようにお祈りいたします。また、引き続き佐々木良子先生が健康を維持され、靈性に満たされた働きができますように御加禱頂ければ幸いです。なお、最終会計報告は全ての精算が終了しましたら、ご報告いたします。主になりにて

『佐々木良子宣教師を支える会』支援会の皆様へ

ケルン・ボン日本語キリスト教会 教会員代表 藤井隼人

主をほめたたえよ。2025年3月、とうとう佐々木良子牧師とのお別れの時が来てしまいました。2016年から9年間という月日がどんなに恵まれたものであったか、言葉では言い尽くせません。

ケルン・ボン日本語キリスト教会（略称：KB教会）は、1977年の設立から今年で47年になりますが、日本キリスト教団とドイツ福音主義合同教会（国教会、Ev. Kirche der Union, Berlin）との宣教協約に基づいて正式に日本からお迎えした全ての牧師の謝儀、活動費はドイツ福音教会の支援金によって賄われてきました。

ドイツ国教会は、教会員の減少等によりその経済的基盤が様変わりし、日本からの招聘牧師への支援額も大きく変わって（減少して）いきました。佐々木良子牧師は、正にドイツ国教会の支援が完全に無くなった時に与えられた牧会者でした。佐々木先生から当教会に来独の打診が入ったときの役員一同の驚きと感動は今尚胸に蘇ります。私たちは、KB教会に対する神様の憐れみのご配慮を味わい続けることになりました。『佐々木良子宣教師を支える会』の結成と、支援内容の詳細を知らされて、当教会役員会は小松川教会の皆様を中心とする『支える会』の方々の、佐々木先生に対する熱烈とも言える愛を知り、責任をずっしりと感じた時でした。

佐々木先生は気さくなお人柄で、次々と若い日本人の婦人方と親しくなられるのですが、聖書の学びを始めても、彼女たちの夫の転勤に伴い、数年でお別れが来ってしまうという経験を幾度となく繰り返され、辛かったと思います。遠近を問わず、弛まず果敢に各地へ赴き、絶えず積極的に多くの人々と交わって下さったこと、ハプニングや失敗があってもめげることなく、前向きに挑戦される姿に先生の、「神の導きを信じて、全てを神に委ねる」姿勢を見せて頂きました。

この9年間という、KB教会にとって大きな節目となる年月に佐々木先生を与えられ、じっくり将来を見据えつつ教会生活を営むことができましたことを主に感謝致します。金聖恩姉と金 Jeungho 兄が佐々木先生の後継者として決まったことも、佐々木先生のお祈りとご指導に依るところが大であると思っています。主の御導きを感じます。

更に、当教会婦人会からの感謝をお伝えせねばなりません。『支える会』の方々から、9年間を通して物心両面のご支援が続きしました。個人宛、教会宛てに大量のプレゼントや乾物が届きました。我が婦人会は、立派な材料を潤沢に用いて、蚤の市、各種祝会、ボンハッファー教会の行事、地域のご奉仕と、毎礼拝後の軽食に心配なくプレゼントを用いさせていただきました。当地では手に入らないような品々でした。どの小包にも愛情溢れる激励の言葉が添えられておりました。

何人かの方々は、9年間もの間、週一回の聖書を読む会と、小松川教会の聖日礼拝の後、当教会の礼拝にもリモート参加されました。日本時間の夜9時（夏時間）または夜10時（冬時間）からの礼拝に、です。佐々木牧師を支えよう、ということを態度で示され、私たちはその姿に感動し、忠実と従順を学びました。

当初は3年間との約束で牧師を送り出されましたが、その後3年間、更にもう一度3年間と、合計9年間の長きに亘り『支える会』として佐々木先生、そしてKB教会を支え続けて頂き、誠に有難うございました。

お支え下さったお一人お一人の上に豊かな御祝福が溢れますように切に祈ります。

主にあって

2025年2月23日

※「佐々木良子宣教師を支える会」は、最終的な会計報告をもって解散いたします。

尚、HPは5月をもちまして終了させていただきます。これまでご覧頂きどうもありがとうございました。